CEATEC2026 校外研修

10 月 15 日（木)、附属中学 1・3 学年生徒で千葉・幕張メッセにて開催された国内最大級の先端技術展示会「CEATEC2026」および隣接会場の「ジャパンモビリティショー・ビズウィーク」を見学し、最先端の科学・技術に触れる「ほんもの体験」を行いました。

今回の展示会では、電機産業と自動車産業という日本の 2 大産業が連携し、「AI（人工知能)」やモビリティを中心とした異業種間での「協業・共創」や新しいビジネスへの取り組みが数多く紹介されていました。会場には大手メーカーからスタートアップまで 1,000 以上の企業・団体・大学の研究室が出展しており、AI を活用した運転支援アプリや自動運転技術、AI ヒト型ロボットなどの最先端展示が並んでいました。生徒たちは興味をもったブースを訪れ、開発技術者の方々の説明を熱心に聞きながら積極的に質問をしていました。

業界の垣根を越えた最先端技術や移動の未来に直接触れる「ほんもの体験」を通して、社会課題の解決や技術融合の重要性について理解を深め、生徒自身の課題研究に向けたモチベーションや探究心を大いに高めることができました。







